

ミスミグループ本社 2018年3月期 連結業績 ～ 7期連続で過去最高売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2017年3月期	2018年3月期	増減率
売上高	259,015	312,969	+20.8%
のれん等償却前 営業利益 ※	29,421	36,465	+23.9%
営業利益	27,127	34,848	+28.5%
純利益	18,387	25,601	+39.2%
1株当たり純利益	66.94円	91.01円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2018年3月期の連結業績ハイライト>

- 国内の販売堅調に加え、海外では中国、アジアの高伸長が寄与し、連結売上高は、対前年同期比 20.8%（現地通貨ベース 18.7%）の大幅増収を達成**
 - 2018年3月期における世界経済および日本経済は、全体として緩やかな景気回復の動きが続きました。アメリカにおいては、足元では通商問題に対する影響などの不透明感はあるものの、雇用者数、設備投資などが緩やかに増加するなど景気の回復傾向が継続しました。中国では総じて底堅い景気の動きが続き、その他のアジア各国および欧州においても緩やかな景気回復が継続しました。また、日本では設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。
 - このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進するとともに国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。こうした体制強化等により、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの旺盛な需要を取り込み、VONA事業では品揃えの強化などによって国内において大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長し、連結売上高の拡大に寄与しました。

- こうした結果、連結売上高は 3,129 億円、前年同期比で 20.8% (現地通貨ベース+18.7%) の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は 348 億円 (前年同期比+28.5%)、経常利益は 346 億円 (前年同期比+31.0%) となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は 256 億円 (前年同期比+39.2%) となりました。売上高、利益とも 7 期連続で過去最高を更新しました。

2. VONA 事業、FA 事業を中心に高成長を継続

- 2018 年 3 月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高 (百万円)		増減率	
	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期	円ベース	現地通貨ベース
FA 事業	84,669	105,184	+24.2%	+21.9%
金型部品事業	69,797	76,523	+9.6%	+6.9%
VONA 事業	104,548	131,262	+25.6%	+23.8%
合計	259,015	312,969	+20.8%	+18.7%

- FA 事業は、旺盛な自動化需要を捉え、グローバルで QCT (高品質 (Quality)、低コスト (Cost)、確実短納期 (Time)) を強化することにより、日本、中国、アジアの高伸長が業績を牽引し、前年同期比 24.2% の増収となりました。
- 金型部品事業は、自動車およびエレクトロニクス関連の新規金型需要の獲得などで、中国、アジアにおける販売拡大が寄与した結果、前年同期比 9.6% の増収となりました。
- VONA 事業は、品揃えの強化などにより、国内業績の成長が持続したことに加え、中国、アジアの高成長も寄与し、前年同期比 25.6% の増収となりました。

3. 海外売上高は、引き続き中国・アジアにおける成長が牽引

- 2018 年 3 月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高 (百万円)		増減率	
	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	140,301	166,440	+18.6%	—
海外	118,713	146,528	+23.4%	+18.7%
中国	43,401	56,872	+31.0%	+27.0%
アジア	32,637	42,315	+29.7%	+22.9%
アメリカ	25,794	26,985	+4.6%	+3.1%
ヨーロッパ	12,588	15,489	+23.0%	+14.2%
その他	4,291	4,865	+13.4%	+10.9%

- 日本では、自動化需要の取り込みや VONA 事業での販売拡大などに努めた結果、前年同期比 18.6% の増収となりました。
- 海外では、特に中国、アジアでの旺盛な自動化需要の取り込みが寄与して、前年同期比 23.4% の大幅増収となりました。

4. 年間配当金は 22.60 円で過去最高、前年比 5.89 円増配

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための投資や経営基盤の拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に判断し、株主還元方針を定めています。
- 配当に関しましては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2018年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。
- 従いまして、2018年3月期の業績実績により、期末配当金は11円08銭（前年比1円98銭増）を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末実績の11円52銭（前年比3円91銭増）と合わせ、22円60銭（前年比5円89銭増）の予定です。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	10.47	25.0%	21.99	25.0%
当期実績	11.52	25.0%	11.08	25.0%	22.60	25.0%
前期実績	7.61	25.0%	9.10	25.0%	16.71	25.0%

5. 2019年3月期連結業績は売上・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2019年3月期の通期連結業績予想については、商品ラインアップの拡充とコスト競争力強化を進めるほか、グローバル確実短納期供給の強化に努めることで事業拡大を見込んでおり、8期連続で売上・利益ともに過去最高を更新する計画です。

2019年3月期 連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	361,000	39,700	39,500	28,500	100.60
前期実績	312,969	34,848	34,679	25,601	91.01
増減	+15.3%	+13.9%	+13.9%	+11.3%	—

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2019年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2018年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014 mail : cc@misumi.co.jp</p>
